

平成28年12月12日

運営協議会委員各位

学校運営協議会会長 工藤 智宏

平成28年度 第5回高森東学園学校運営協議会会議録

下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 日時：平成28年12月12日（水）18：00～
2. 場所：高森東小学校図書室
3. 出席者等
運営協議会委員10名
教育委員会堺審議員、学校教育係員本田、各校教頭、高森東CS担当職員、佐藤事務
計17名
欠席（江藤、矢津田、城井、甲斐富、甲斐哲）
4. 議題
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 協議
 - (1) 前回議事録確認
 - (2) 高森町教育委員会から（堺審議員）

高森町議会定例会66号議案義務教育学校の制定に伴う条例整備
正式名：高森東学園義務教育学校
住所：高森町野尻1912番地
義務教育学校化への前提として教育の質を向上させるという目的
<質疑>
○小中別々なものを、一緒にする必要があるのか（伊東）
→小学生が中学生に、小学校から中学校に変わることによるギャップに対応するため。例えば、中学校の先生による専門的な学びを小学生の間に受けることにより、その学びをそのまま中学生になっても活かせる。など
○統一するもの、別々にするものなど決まっていることはあるか（工藤）
→とりあえずは現況のまま。制服、校歌、校章、校旗など考えていく必要がある。
○来年度から確実に義務教育学校になるのか。29年度から全て決まった状態でスタートするのか（白石豊）

→15日で議案が可決されればなる。29年度スタート時では未定のまま。制服、校歌などその決め方も含めて追々決まっていくことになる。

○学年の区別はどうなるのか（渡辺）

→4・3・2制を想定している。

○卒入学式はどうなるか（伊東）

→小1で入学、中3で卒業式を行う。

○修了証の交付はどうなるか

→6年までを前期、9年を後期という位置づけになる。前期、後期で修了証は交付される。（福田）

○児童、生徒が少なくなることへの対応などはあるのか（白石久）

→運動会や文化祭など合同開催、地域開催になっている部分もある。今いる小学生、中学生にベストの教育を提供するという前提で考えていく必要がある。

（3）教職員の任用に関する意見の集約について

（ア）小中学校校長先生より

＜小学校福田校長より＞

○中学校の免許外教科への対応ができるような小学校教諭の配置をお願いしたい。

○県費負担職員の異動時に校務分掌に困らないような配置

＜中学校西嶋校長より＞

○高森東の子どもの素直さ、まじめさなど家庭や地域の基盤により形成され、学校の雰囲気として定着している。地域の特徴として今後もお願いしていきたい。

○小中の免許を所持している職員をお願いしたい。

○管理職4名だが、校長、副校長、教頭2名となる。管理職の任用についても協議していただきたい。

（イ）質疑

・教員の異動はどのように決まるのか？（異動）

→任命権者は県であり、教育委員会はある程度意見を述べるができるが意のままにはならない。学校運営協議会の意見は直接意見として上ということ踏まえて協議していただきたい。（堺審議員）

・両校長は現時点でどのような管理職体制がベストと考えているか（白石豊）

→東学園の場合は施設が一体ではなく、職員の定数、小、中の枠組みは変わらないので、校長は中学校に配置され主に中学校、副校長は小学校に配置され主に小学校を管理することになるのでは。誰が来るかについては校長についてはわからない。副校長は教頭経験者が来るのではないか。（福田）

(ウ) めざす学校・児童・生徒のために必要な人的環境について話し合い

グループ A の意見（工藤、伊東、渡辺、堀田）

- ・小、中両方の免許を持っている先生
- ・管理職にどちらかが残っていただくなど、運営に影響が出ないような人事
- ・両方の免許を取得していけるような推進
- ・やる気ある部活の指導者
- ・子どもにも不安や影響があると思うので心のケアができる先生の配置

グループ B の意見（草村、堀田、白石久、白石豊）

- ・負担が大きいため、異動は少なくしていただきたい。
- ・小、中両方の免許を持っている先生
- ・義務教育学校に関心が高くやる気がある先生
- ・小学校、中学校の免許を持ち、バドミントンの経験もある先生が良い

(4) その他

4 連絡事項

○東学園学校運営協議会懇親会

1月24日（火）18：30～場所未定

○地域学校協働活動推進実践交流会

1月31日（火）参加の方は田上まで連絡を

○次回開催日程

評価について。日程未定。19：00～

5 閉会

以上